

# 法典とは何か



[法典とは何か 下载链接1](#)

著者:岩谷十郎

出版者:慶應義塾大学出版会

出版时间:

装帧:

isbn:9784766421873

作者介绍:

目录: はじめに

## 第1章 法統一のための法典編纂

- I 法典編纂って何?
- II なぜ法典編纂なのか?
- III 何のための法典編纂?
- IV 法典編纂はもう古い?
- V それでも法典編纂?
- VI 誰のための法典編纂?

## 第2章 近代日本の法典編纂

—— その“始まり”の諸相 ——

- I はじめに —— 法典編纂を不可避とした条件
- II 明治初期太政官制下の法典編纂
- III お雇い外国人と法典編纂
- IV 法典編纂の技術と方法
- V おわりに

## 第3章 脱法典化と再法典化

- I 民法典の「危機」
- II 19世紀 —— 法典の時代
- III 20世紀 —— 脱法典化の時代
- IV 21世紀 —— 再法典化の時代?
- V あらためて法典とは

## 第4章 法典と一般的法原則

—— 法秩序の重層構造と動態的法形成 ——

- I はじめに —— 再法典化と「一般的法原則」
- II 「法原則」(プリンシプル)と「法規範」(ルール)
- III 「指導的法原則」と「矯正的法原則」
- IV 法認識と「法原則」
- V 「法規範」(ルール)における「例外」の許容
- VI 法規範の拡張としての「法的擬制」
- VII 法規範の縮小としての「特段の事情」
- VIII むすびに代えて —— 法秩序の重層構造と動態的法形成

## 第5章 ドイツ民法典と法典論

- I ドイツ民法典の成立
- II ドイツ民法典の展開
- III ドイツ民法典の危機
- IV プロイセン一般ラント法の立法技術
- V ドイツ民法典の立法技術
- VI 現代法典論における立法技術
- VII 法典論と立法技術

## 第6章 フランスの諸法典

- I 民法典の編纂・隆盛・激動
- II 現代における法典化
- III 法典、法典化そして「再」法典化とは何か?
- IV 結びにかえて

## 第7章 英米法における法典化運動

- I はじめに
- II 法典化の要請とその実践
- III 新たな法典化の展開
- IV おわりに

## 第8章 ラテンアメリカと法典化

- I はじめに
- II 政治的独立と法的依存 ― フランス民法典への隷属的法典化
- III ラテンアメリカ内因性の自立的法典化 ― フランス民法典からの脱却へ
- IV 結びに代えて ― 独立期法典化の諸要因
- 第9章 ヨーロッパ (EU) 私法の平準化
  - ― ヨーロッパ民法典の可能性 ―
  - I ヨーロッパ民法典の構想と共通売買法
  - II ヨーロッパ私法の形成をめぐる学説の動向
  - III ヨーロッパ共通契約法典への道程 ― 指令、モデル法、規則
  - IV EU私法の平準化への新たな道開 ― 規則としての選択的法準則
  - V おわりに ― 今後の展望
- 第10章 開発における法典編纂
  - I はじめに
  - II ラオスにおける民法典編纂
  - III ネパールにおける民法典編纂
  - IV おわりに ― 進化する法システムと法典編纂
- 第11章 「商法典」とは何か
  - ― 法典化・脱法典化・再法典化 ―
  - I 「商法典」の現在
  - II ヨーロッパ大陸法諸国の動向
  - III 日本の商法典
  - IV むすびに代えて ― 法典の行方と商法学のあり方
- 第12章 消費者法と法典化
  - I はじめに ― 消費者法をめぐる問題状況と課題の設定
  - II 消費者法の法典化に関する他国のモデル
  - III 日本民法改正と消費者法をめぐる議論
  - IV 消費者法の法典化
- 索引
- 執筆者紹介
  - ・ ・ ・ ・ ・ (收起)

[法典とは何か 下载链接1](#)

标签

法制史

民法学

评论

第1・2・4・5章 北居功/岩谷十郎/片山直也/水津太郎

-----  
[法典とは何か\\_ダウンロード1](#)

书评

-----  
[法典とは何か\\_ダウンロード1](#)